

**2023年度**

**研究不正防止計画**

**公立大学法人北九州市立大学**

## 不正等の発生要因分析、及び対応する今年度の主な実施事項

### 1 機関内の責任体系の明確化

1-1	不正等の発生要因	各責任者へ役割の周知が不足している。
	想定される問題	責任者の管理不足により、不正が見過される。
	今年度の実施事項	コンプライアンス責任者・研究倫理教育責任者に対する研修を行い、役割の周知と管理の徹底を図る。

### 2 公的研究費の適正な運営・管理

2-1	不正等の発生要因	不正問題に対する意識が希薄である。公的研究費の執行ルールに関する認識が不十分である。
	想定される問題	不正という認識なしに、不正行為につながるリスクがある。
	今年度の実施事項	公的研究費に関わる教職員全員に対して研修を行う。また、執行ルールのガイドブックを学内ポータルサイトに掲載し、周知及び注意喚起を徹底する。
2-2	不正等の発生要因	研究費の執行に計画性がない。
	想定される問題	年度末の駆け込み執行や、残余研究費での不要な物品購入が起きる。
	今年度の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等において、研究費の計画的な執行を促す。</li> <li>・外部研究費について、その繰越制度等を周知する。</li> <li>・コンプライアンス推進責任者が、年度途中で執行状況を確認し、執行率の低い教員にヒアリングを行う。必要に応じて執行計画の見直しを指示する。</li> </ul>
2-3	不正等の発生要因	立替払いの執行ルールが周知徹底されていない。 立替払い後の請求が遅延する。
	想定される問題	立替払いの精算忘れや二重払いが起きる。
	今年度の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立替払いの精算に期限を設けて、適正な処理や速やかな請求を促す。</li> <li>・書籍や電子書籍等について、検収を徹底する。</li> </ul>
2-4	不正等の発生要因	公的研究費等で購入した物品について、管理が不十分である。
	想定される問題	換金性の高い物品の売却、目的外使用が起きる。
	今年度の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換金性の高い物品については、管理シール・セキュリティシールを現物に貼付し、所在が分かるよう記録する。現物確認等調査の強化を行う。</li> </ul> <div style="margin-left: 20px;"> <span style="font-size: 2em;">[</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>※換金性の高い物品：パソコン、タブレット型コンピュータ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、テレビ、録画機器</li> </ul> <span style="font-size: 2em;">]</span> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス推進責任者又は同副責任者による物品等の管理状況調査を行う。</li> </ul>

### 3 公正な研究活動の推進

3-1	不正等の発生要因	どのような行為が不正行為にあたるかの知識が不十分である。
	想定される問題	不正という認識なしに、不正行為を行うリスクがある。
	今年度の実施事項	研究活動に携わる者には、研究倫理教育・研修及び啓発を行う。

### 2023年度の実施スケジュール

実施時期	実施事項
第1 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規採用教員に対する研究不正防止研修の実施(新任教員研修)</li> <li>○新規採用教員の研究倫理研修受講</li> <li>○新規採用教員からの誓約書提出</li> <li>○立替払い調査の実施</li> <li>○コンプライアンス推進責任者・研究倫理教育責任者に対する研修の実施</li> <li>○啓発活動(1回目)</li> </ul>
第2 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現物確認等調査の実施</li> <li>○研究不正防止研修(全教員)の実施</li> <li>○公的資金執行専門研修(事務局職員)の実施</li> <li>○2023年度科研費公募要領等説明会(不正防止含む)の実施</li> <li>○啓発活動(2回目)</li> </ul>
第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○10月採用教員からの誓約書提出及び研究倫理研修受講</li> <li>○教員による物品等のセルフチェックに併せてコンプライアンス推進責任者又は同副責任者による物品等に係る管理状況調査を実施</li> <li>○公的研究費執行状況調査の実施 (年度当初に執行を開始した研究課題)</li> <li>○公的研究費内部監査の実施</li> <li>○啓発活動(3回目)</li> </ul>
第4 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公的研究費執行状況調査の実施 (年度途中で執行を開始した研究課題)</li> <li>○次年度研究不正防止計画策定</li> <li>○啓発活動(4回目)</li> </ul>

※学生(学部生、院生)に対しては、研究倫理教育を授業の中で実施し、その旨を当該シラバスに明記。